

クドア属が病因物質と疑われる食中毒及び有症苦情

1 近年増加する生鮮魚介類の生食後に発症する有症事例

近年、ヒラメやメジマグロなど生鮮魚介類の生食後、短時間でおう吐や下痢を呈する有症事例が全国的に増加している。平成23年6月8日、薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会、食中毒部会、乳肉水産食品部会から出された「生食用生鮮食品による病因物質不明有症事例についての提言」によると、平成21年6月から平成23年3月までに食後数時間程度で一過性のおう吐や下痢を呈し、軽症で終わる原因不明の有症事例は全国で198件発生した。この中で提供メニューの中にヒラメが含まれていたものは135件と最も多く、マグロが73件、メジマグロが17件であった。

このような中で、平成24年6月には、金沢市においてメジマグロの刺身が原因食品と疑われる食中毒が発生しており、残品のメジマグロから、クドア属の粘液胞子虫が検出されている。都においてもメジマグロを生食後に短時間で発症した有症事例が平成23年に7件発生しており、残品の寄生虫検査を実施した5件全てにおいて、クドア属の粘液胞子虫が検出されるなど、当該寄生虫の関与が疑われる。

また、原因食品にヒラメが含まれる食中毒は平成23年に都内で4件発生しているが、患者が救急搬送されるケースもあるなど、必ずしも軽症とは言えないこともあり、その発症状況等はいまだ不明な点も多い。

そこで、メジマグロやヒラメの関与が疑われる事例を中心に、生鮮魚介類の生食後短時間で発症した有症事例について、これらの情報を収集し、今後の食中毒調査の一助となるよう、症状及び潜伏時間などの発症状況を以下の通り、取りまとめた。

2 クドア属の関与が疑われる食中毒発生状況（全国）

表1に、平成23年に全国で発生した食中毒のうち、食中毒事件票等からクドア属の関与が疑われた47事例を示した。このうち、クドア・セブテンpunkタータが病因物質として特定（又は推定）されたものは32事例、原因食品にヒラメの記載があったものは37事例であった。また、寄生虫検査の結果、クドア・セブテンpunkタータ等が検出されたものは12事例あった。このうち、ほとんどがヒラメからの検出事例であったが、ヘダイからクドア・イワタイが検出された事例等もあった。

3 生鮮魚介類の関与が疑われる有症事例 発生状況（都内）

表2に、都内で生鮮魚介類（ヒラメ除く）を生食後に、短時間で発症した食中毒及び有症苦情を示した。食中毒については、平成4年1月から平成24年12月迄の発生分、有症苦情については、平成23年4月から平成24年12月迄に発生したメジマグロの関与が疑われる事例を示した。

メジマグロの生食があった有症苦情9事例のうち、残品の寄生虫検査を実施した7事例全てにおいて、クダア属の粘液胞子虫が検出された。また、事例 No.13 では、残品のヘダイからクダア・イワタイが検出されているが、クダア・イワタイ及びクダア属粘液胞子虫の病原性については研究段階であることから、患者症状との因果関係は不明である。

発生時期をみると、カツオを生食した事例は1月から4月、マグロを生食した事例は3月から10月、メジマグロを生食した事例は6月から12月に発生していた。

なお、都における寄生虫検査では、カツオからクダア属が検出された事例はないが、今後の食中毒調査の一助となるよう、カツオの喫食後に発症した有症事例についても参考に掲載した。

表2 生鮮魚介類の生食後に発症した都内の食中毒等（ヒラメ除く）

No.	年	発生日	主な生食魚種	食中毒/有症苦情	病因物質	喫食者数	患者数	入院者数	潜伏時間	寄生虫 検査結果
1	11	3月23日	カツオ	食中毒	不明	32	11	不明	6hから15h	検査なし
2	15	3月30日	マグロ	食中毒	不明	55	13	不明	4.5hから10h	検査なし
3		7月19日	マグロ カツオ等	食中毒	不明	17	10	不明	5hから13h	検査なし
4	19	10月5日	マグロ	食中毒	不明	20	13	不明	2hから7h	検査なし
5	21	1月30日	カツオ	食中毒	不明	28	18	不明	3hから10h	検査なし
6		4月19日	カツオ	食中毒	不明	274	21	不明	4hから92h	検査なし
7		5月3日	マグロ	食中毒	不明	14	9	0	7hから16h	検査なし
8	22	4月1日	カツオ シイラ	食中毒	不明	20	10	不明	3hから11h	検査なし
9	23	6月13日	メジマグロ	有症	不明	1	1	0	1h	メジマグロ残品 クダア属(+)
10		6月20日	メジマグロ	有症	不明	4	4	1	6hから11h	メジマグロ残品 クダア属(+)
11		7月1日	メジマグロ	有症	不明	4	3	0	10hから12h	検査なし
12		7月3日	メジマグロ	有症	不明	4	4	0	3.5hから4h	メジマグロ残品・参考品 クダア属(+)
13		9月13日	ヘダイ	食中毒	不明	16	10	0	5hから14h	ヘダイ残品 クダア・イワタイ(+)
14		11月18日	メジマグロ	有症	不明	2	2	1	6h	メジマグロ参考品 寄生虫(-)
15		12月9日	メジマグロ	有症	不明	1	1	0	3.5h又は11h (8日 昼及び夜喫食)	メジマグロ残品 クダア属(+)
16		12月19日	メジマグロ	有症	不明	28	12	0	0.5hから16.5h	メジマグロ残品・参考品 クダア属(+)
17	24	6月20日	メジマグロ	有症	不明	43	9	1	1hから12h	メジマグロ残品、吐物、患者便 クダア属(+)
18		8月21日	メジマグロ	有症	不明	21	6	0	4.5hから18.5h	メジマグロ残品 クダア属(+) 9.8×10 ⁶ コピー

表3に、平成23年4月から平成24年12月に都内でヒラメを生食後に短時間で発症した食中毒7事例を示した。このうちヒラメ残品の寄生虫検査を実施した4事例全てにおいて、クドア・セブテンpunkタータが検出された。残り3事例については、ヒラメ残品の検査ができなかったこと等から、病因物質不明の食中毒と処理された。なお、患者が喫食したヒラメはいずれも韓国産（推定含む）であった。

表3 ヒラメの関与が疑われる食中毒（都内 H23.4～H24.12発生）

年	発生日	病因物質	原因食品	産地	喫食者数	患者数	入院	潜伏時間	寄生虫 検査結果
23	8月1日	K. septempunctata	ヒラメ刺身	韓国	11	7	0	6h～12h	ヒラメ残品 K. septempunctata(+) 8.9×10 ⁸ コビ ⁺ /g
	10月31日	不明	当該店の食事 (ヒラメ含む)	韓国 (推定)	10	9	0	3.5h～15h	検査 なし
	11月4日	K. septempunctata	ヒラメ刺身	韓国	7	6	2	4h～12h	ヒラメ残品 K. septempunctata(+) 7.8×10 ¹⁰ コビ ⁺ /g
	11月5日	不明	当該店の食事 (ヒラメ含む)	韓国	15	9	0	3h～12h	検査 なし
24	3月23日	K. septempunctata	ヒラメ刺身	韓国	8	3	0	9h～12h	ヒラメ検食・参考品 K. septempunctata(+) 1.1×10 ⁷ ～1.7×10 ⁸ コビ ⁺ /g
	7月10日	K. septempunctata	自身魚の カルパッチョ (ヒラメ)	韓国	4	4	0	4h～6h	ヒラメ残品 K. septempunctata(+) 1.0×10 ⁷ 孢子/g 患者検便 K. septempunctata(+)
	7月17日	不明	海鮮丼	韓国	6	6	0	3h～5h	検査 なし

4 生鮮魚介類の関与が疑われる事例での患者症状及び潜伏時間

(1) メジマグロ等の事例における患者症状等

表4に、メジマグロ及びマグロ（以下メジマグロ等）を喫食した14事例(表2 No. 2.4.7.9～12.14～18、表8の新潟県及び金沢市の事例)、計128名の患者症状をまとめた。

主な症状は、下痢(75.0%)、吐き気(57.0%)、腹痛(50.0%)等であった。おう吐については5回以下、下痢については水様便で5回以下、発熱については37.0℃～37.9℃が主であった。初発症状は、吐き気が約4割、腹痛が約3割であった。潜伏時間については、喫食後6時間付近に発症のピークが確認された。

表5 メジマグロ及びマグロ事例における患者症状等

症状 患者128名中（複数回答）

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	緊急後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	96	49	22	64	73	17	2	9	44	23	23	32	8	15
発症率(%)	75.0	38.3	17.2	50.0	57.0	13.3	1.6	7.0	34.4	18.0	18.0	25.0	6.3	11.7

おう吐

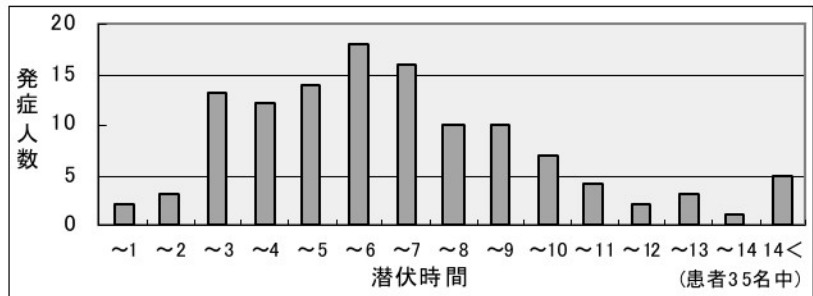
回数	1～5	5～10	11以上	不明
人数	34	8	4	3

下痢

回数	1～5	5～10	11以上	不明
人数	64	19	10	3

水様：70名 粘液：3名 軟便：16名

血便：1名（以上複数回答あり） 不明：9名



発熱

最高体温	37.0未満	37.0～37.4	37.5～37.9	38.0～38.4	38.5～38.9	39.0～39.4	39.5以上	不明
人数	3	5	5	4	0	1	0	5

初発症状 患者122名中（複数回答あり）

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	緊急後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	26	11	3	32	51	0	1	0	6	4	2	3	0	3

(2) カツオ事例における患者症状等

表5に、カツオを喫食した4事例(表2No.1.5.6.8)、計60名の患者症状をまとめた。

主な症状は、下痢(85.0%)、腹痛(48.3%)、吐き気(48.3%)等であった。おう吐については5回以下、下痢については水様便で5回以下、発熱については37.5℃~38.4℃が主であった。初発症状は、吐き気、下痢が約3割であった。潜伏時間については、喫食後8時間付近に発症のピークが確認された。

表5 カツオ事例における患者症状等

症状 患者60名中(複数回答)

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	裏急後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	51	25	20	29	29	9	4	7	18	21	10	14	5	1
発症率(%)	85.0	41.7	33.3	48.3	48.3	15.0	6.7	11.7	30.0	35.0	16.7	23.3	8.3	1.7

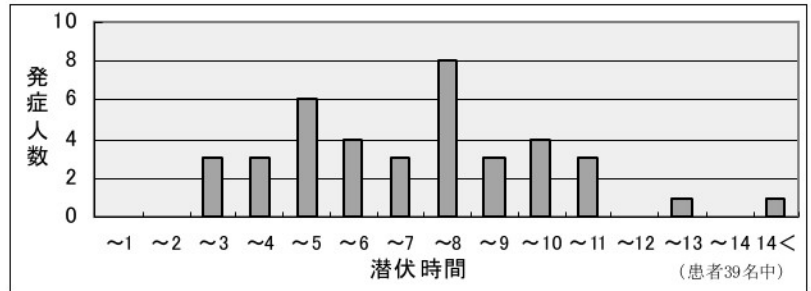
おう吐

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	18	2	0	2

下痢

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	34	12	1	4

水様: 39名 粘液: 2名 軟便: 3名
血便: 1名(以上複数回答あり) 不明: 8名



発熱

最高体温	37.0未満	37.0~37.4	37.5~37.9	38.0~38.4	38.5~38.9	39.0~39.4	39.5以上	不明
人数	1	0	7	7	2	1	0	2

初発症状 患者48名中(複数回答あり)

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	裏急後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	15	3	0	11	15	1	0	2	1	2	0	2	0	0

(3) ヒラメ事例における患者症状等

表6に、ヒラメを喫食した7事例(表3)、計44名の患者症状をまとめた。

主な症状は、下痢(84.1%)、吐き気(70.5%)、おう吐(59.1%)等であった。おう吐については5回以下、下痢については水様便で5回以下、発熱については37.0℃~37.9℃が主であった。初発症状は、吐き気が約4割、腹痛が約3割、下痢が約2割であった。潜伏時間については、喫食後8時間付近に発症のピークが確認された。

表6 ヒラメ事例における患者症状等

症状 患者44名中(複数回答)

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	裏急後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	37	26	16	15	31	12	4	4	19	11	13	11	0	4
発症率(%)	84.1	59.1	36.4	34.1	70.5	27.3	9.1	9.1	43.2	25.0	29.5	25.0	0.0	9.1

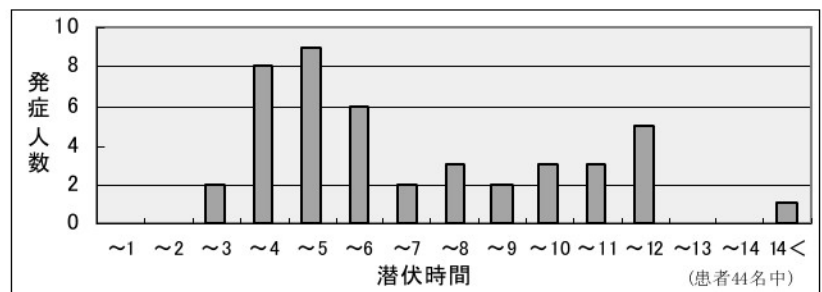
おう吐

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	14	8	2	2

下痢

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	23	10	2	2

水様: 28名 粘液: 2名 軟便: 6名
(以上複数回答あり) 不明: 3名



発熱

最高体温	37.0未満	37.0~37.4	37.5~37.9	38.0~38.4	38.5~38.9	39.0~39.4	39.5以上	不明
人数	0	6	4	1	1	1	0	0

初発症状 患者44名中(複数回答あり)

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	裏急後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	13	6	0	5	24	1	0	0	2	1	0	1	0	3

5 患者症状等の比較

メジマグロ等、カツオ、ヒラメを喫食した各事例において、患者者症ごとの発症率を比較したところ、概ね同じ傾向であり、主な症状は、下痢、吐き気、おう吐、腹痛、倦怠感等であった（図1）。

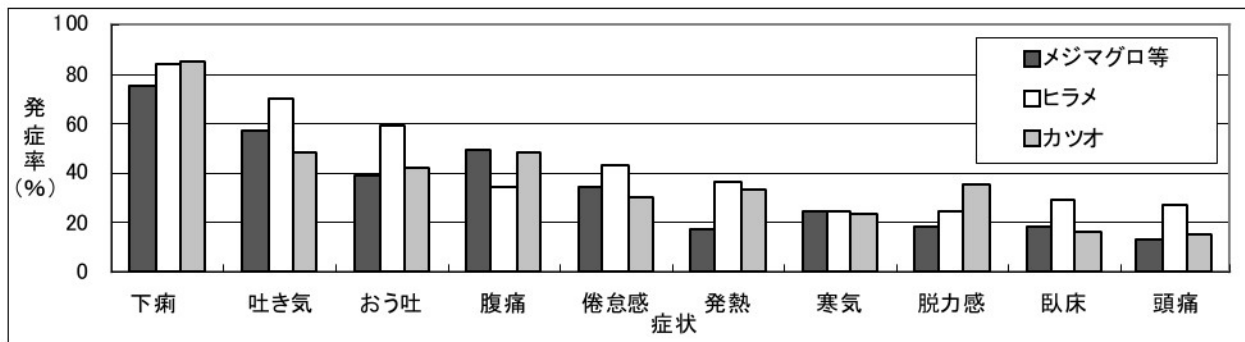


図1 患者症状

メジマグロを喫食した事例に注目すると、ヒラメを喫食した事例と比べて、腹痛の発症率がやや高く、その他の症状については発症率が低くなる傾向があった。とくに、発熱の発症率が低くなる傾向があった（図1、図2、図3）。

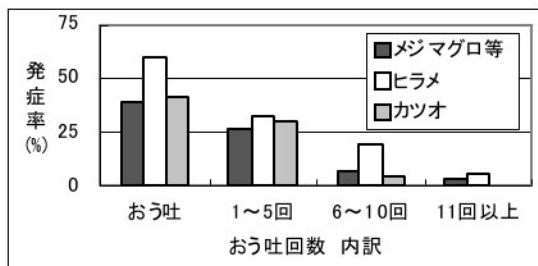


図2 患者症状（おう吐回数）

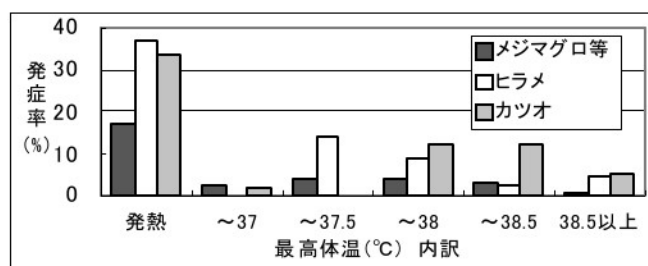


図3 患者症状（発熱 最高体温）

また、初発症状で最も発症率が高かったのは、いずれの事例でも、吐き気であった（図4）。

なお、表4から表6で示した各事例における潜伏時間のピークを比較すると、ヒラメが喫食から5時間後、メジマグロ等が6時間後、カツオが8時間後となり、ヒラメを喫食した事例が最も早く発症する傾向があった。

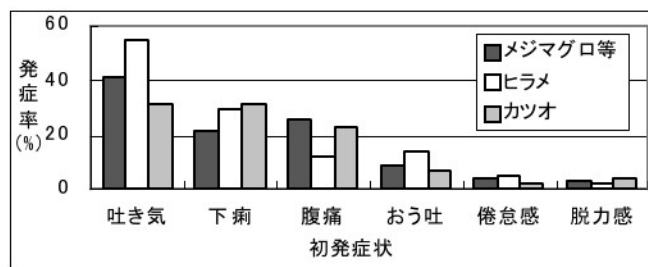


図4 患者症状（初発）

6 まとめ

クドア・セブテンブクタータについては、平成24年12月28日付け厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知、及び厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課長通知により、食中毒の病因物質に追加されることとなった。しかし、当該寄生虫による詳細な患者症状やその寄生宿主等についての情報は、十分あるとはいえない。

また、その他のクドア属粘液胞子虫については、当該寄生虫の関与が疑われる食中毒等が発生しているものの、研究段階であることから、人体への病原性は不明確である。

このため、今後ともクドア属についてのデータを蓄積していくことで、国や他自治体への情報提供を積極的に行うとともに、その病原性や有症事例との関係性を明らかにし、事業者への普及啓発など食の安全性確保に活用していく。

表1 クドア属の関与が疑われる食中毒発生状況（平成23年 全国）

No.	自治体名	発病年月日	患者数	病因物質	原因食品	寄生虫 検査結果 等
1	横浜市	1月8日	18	不明	ヒラメのカパッチョ	不明
2	大阪府	6月13日	11	不明	ヒラメ	ヒラメ K. septempunctata
3	兵庫県	6月23日	24	K. septempunctata	ヒラメ刺身	残品ヒラメ K. septempunctata
4	兵庫県	6月27日	11	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
5	和歌山県	7月21日	7	不明	飲食店の食事	K. septempunctataに汚染された 養殖魚介類の可能性あり
6	和歌山県	7月21日	20	不明	飲食店の食事	K. septempunctataに汚染された 養殖魚介類の可能性あり
7	兵庫県	7月31日	12	K. septempunctata	飲食店の食事	不明
8	港区	8月1日	7	K. septempunctata	ヒラメ刺身(推定)	残品ヒラメ K. septempunctata 8.9×10^6 コビ ⁺ /g
9	兵庫県	8月4日	4	K. septempunctata	旅館の食事	吐物 K. septempunctata 残品ヒラメ (-)
10	兵庫県	8月15日	7	不明	仕出し弁当	残品なし (症状等からK. septempunctataが疑われた)
11	兵庫県	8月17日	11	K. septempunctata	ヒラメ刺身	ヒラメ身・エンガワ K. septempunctata
12	滋賀県	8月17日	14	不明	ヒラメ刺身(推定)	不明
13	名古屋市	8月22日	8	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
14	岐阜県	8月23日	25	不明	旅館の食事	残品ヒラメ K. septempunctata
15	山梨県	8月24日	5	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
16	旭川市	9月1日	50	K. septempunctata	ヒラメ	不明
17	高松市	9月5日	7	K. septempunctata	ヒラメ	不明
18	京都市	9月8日	10	K. septempunctata (推定)	ヒラメ刺身	不明
19	三重県	9月8日	94	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
20	大阪府	9月8日	3	K. septempunctata	ヒラメ刺身	残品ヒラメ K. septempunctata 9.4×10^6 孢子数/g
21	下関市	9月8日	14	不明	ヒラメを含む刺身	不明
22	下関市	9月8日	17	不明	ヒラメを含む刺身	不明
23	旭川市	9月9日	5	K. septempunctata	ヒラメ	不明
24	豊中市	9月11日	7	K. septempunctata	ヒラメ刺身	残品ヒラメ K. septempunctata 2.2×10^7 孢子数/g
25	山口県	9月11日	12	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
26	高槻市	9月12日	7	K. septempunctata	飲食店の食事	不明
27	北区	9月13日	10	不明	飲食店の食事	残品ヘダイ K. iwatai
28	北海道	9月13日	13	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
29	愛知県	9月13日	7	K. septempunctata	ヒラメ	不明
30	三重県	9月17日	4	K. septempunctata	ヒラメ	不明
31	滋賀県	9月18日	14	K. septempunctata	ヒラメ刺身・握り	不明
32	富山市	9月29日	5	不明 (K. septempunctata疑い)	不明	不明
33	高松市	10月1日	12	K. septempunctata	ヒラメ	不明
34	奈良市	10月1日	14	K. septempunctata	生のヒラメ	不明
35	島根県	10月1日	13	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
36	宇都宮市	10月4日	13	K. septempunctata	海鮮丼(ヒラメ)	不明
37	豊田市	10月5日	5	K. septempunctata (推定)	ヒラメの昆布ジメ	残品ヒラメから クドア孢子様のものを確認
38	名古屋市	10月5日	20	不明	不明(会食料理)	残品(マグロ、ヒラメ、カンパチ)について、 名古屋市の検査結果は以下のとおり。 ①鏡検:何れも(-) ②リアルタイムPCR法:何れもK. septempunctata検査基準値以下 (マグロ 5.8×10^5 , カンパチ 4.4×10^5 , ヒラメ 7.0×10^6 コビ ⁺ /g) ③コンパニオンPCR法及びシーケンス:マグロ、ヒラメ、カンパチ何れについてもK. septempunctataDNAを確認
39	広島市	10月6日	5	不明	ヒラメ刺身	不明
40	倉敷市	10月13日	10	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
41	中央区	10月31日	9	不明	飲食店の食事 (ヒラメ含む)	残品なし
42	港区	11月4日	6	K. septempunctata	ヒラメ刺身(推定)	残品ヒラメ K. septempunctata 7.8×10^{10} コビ ⁺ /g
43	広島県	11月5日	25	K. septempunctata (推定)	ヒラメ刺身(推定)	不明
44	広島県	11月5日	25	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
45	中央区	11月5日	9	不明	飲食店の食事 (ヒラメ含む)	残品なし
46	広島市	11月13日	14	K. septempunctata	ヒラメ刺身	不明
47	北九州市	12月9日	16	K. septempunctata	ヒラメにぎり	不明

表2 生鮮魚介類の生食後に発症した都内の食中毒等（ヒラメ除く）

No.	年	発生日	主な生食魚種	食中毒/有症苦情	病因物質	喫食者数	患者数	入院者数	潜伏時間	寄生虫 検査結果
1	11	3月23日	カツオ	食中毒	不明	32	11	不明	6hから15h	検査なし
2	15	3月30日	マグロ	食中毒	不明	55	13	不明	4.5hから10h	検査なし
3		7月19日	マグロ カツオ等	食中毒	不明	17	10	不明	5hから13h	検査なし
4	19	10月5日	マグロ	食中毒	不明	20	13	不明	2hから7h	検査なし
5	21	1月30日	カツオ	食中毒	不明	28	18	不明	3hから10h	検査なし
6		4月19日	カツオ	食中毒	不明	274	21	不明	4hから92h	検査なし
7		5月3日	マグロ	食中毒	不明	14	9	0	7hから16h	検査なし
8	22	4月1日	カツオ シイラ	食中毒	不明	20	10	不明	3hから11h	検査なし
9	23	6月13日	メジマグロ	有症	不明	1	1	0	1h	メジマグロ残品 クドア属(+)
10		6月20日	メジマグロ	有症	不明	4	4	1	6hから11h	メジマグロ残品 クドア属(+)
11		7月1日	メジマグロ	有症	不明	4	3	0	10hから12h	検査なし
12		7月3日	メジマグロ	有症	不明	4	4	0	3.5hから4h	メジマグロ残品・参考品 クドア属(+)
13		9月13日	ヘダイ	食中毒	不明	16	10	0	5hから14h	ヘダイ残品 クドア・イワタイ(+)
14		11月18日	メジマグロ	有症	不明	2	2	1	6h	メジマグロ参考品 寄生虫(-)
15		12月9日	メジマグロ	有症	不明	1	1	0	3.5h又は11h (8日昼及び夜喫食)	メジマグロ残品 クドア属(+)
16	12月19日	メジマグロ	有症	不明	28	12	0	0.5hから16.5h	メジマグロ残品・参考品 クドア属(+)	
17	24	6月20日	メジマグロ	有症	不明	43	9	1	1hから12h	メジマグロ残品, 吐物, 患者便 クドア属(+)
18		8月21日	メジマグロ	有症	不明	21	6	0	4.5hから18.5h	メジマグロ残品 クドア属(+) 9.8×10 ⁶ コ ピー

表3 ヒラメの関与が疑われる食中毒（都内 H23.4～H24.12発生）

年	発生日	病因物質	原因食品	産地	喫食者数	患者数	入院	潜伏時間
23	8月1日	K. septempunctata	ヒラメ刺身	韓国産	11	7	0	6h～12h
	10月31日	不明	当該店の食事 (ヒラメ含む)	韓国産 (推定)	10	9	0	3.5h～15h
	11月4日	K. septempunctata	ヒラメ刺身	韓国産	7	6	2	4h～12h
	11月5日	不明	当該店の食事 (ヒラメ含む)	韓国産	15	9	0	3h～12h
24	3月23日	K. septempunctata	ヒラメ刺身	韓国産	8	3	0	9h～12h
	7月10日	K. septempunctata	白身魚の カルパッチョ (ヒラメ)	韓国産	4	4	0	4h～6h
	7月17日	不明	海鮮丼	韓国産	6	6	0	3h～5h

寄生虫 検査結果	原因食品
ヒラメ残品 <i>K. septempunctata</i> 8.9×10^9 コビ ⁺ - /g	ヒラメ刺身
検査 なし	当該店の食事 (ヒラメ含 む)
ヒラメ残品 <i>K. septempunctata</i> 7.8×10^{10} コビ ⁺ - /g	ヒラメ刺身
検査 なし	当該店の食事 (ヒラメ含 む)
ヒラメ検食・参考品 <i>K. septempunctata</i> $1.1 \times 10^7 \sim 1.7 \times 10^8$ コビ ⁺ -/g	ヒラメ刺身
ヒラメ残品 <i>K. septempunctata</i> 1.0×10^7 孢子/g	白身魚のカル パッチョ (ヒ ラメ)
患者検便 <i>K. septempunctata</i>	
検査 なし	海鮮丼

表5 メジマグロ及びマグロ事例における患者症状等

症状 患者128名中（複数回答）

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	裏熱後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	96	49	22	64	73	17	2	9	44	23	23	32	8	15
発症率(%)	75.0	38.3	17.2	50.0	57.0	13.3	1.6	7.0	34.4	18.0	18.0	25.0	6.3	11.7

おう吐

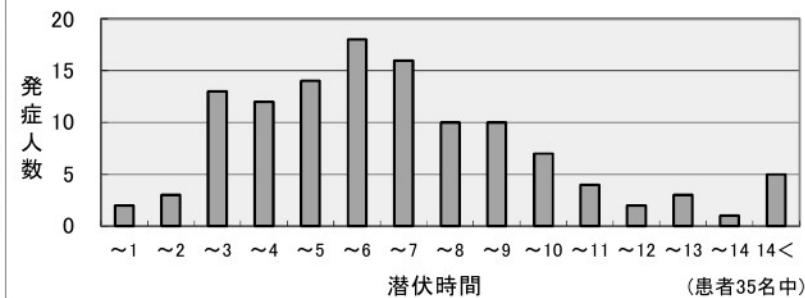
回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	34	8	4	3

下痢

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	64	19	10	3

水様：70名 粘液：3名 軟便：16名

血便：1名（以上複数回答あり） 不明：9名



発熱

最高体温	37.0未満	37.0~37.4	37.5~37.9	38.0~38.4	38.5~38.9	39.0~39.4	39.5以上	不明
人数	3	5	5	4	0	1	0	5

初発症状 患者122名中（複数回答あり）

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	裏熱後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	26	11	3	32	51	0	1	0	5	4	2	3	0	3

表5 カツオ事例における患者症状等

症状	患者80名中（複数回答）													
症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	寒熱後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	51	25	20	29	29	9	4	7	18	21	10	14	5	1
発症率(%)	85.0	41.7	33.3	48.3	48.3	15.0	6.7	11.7	30.0	35.0	16.7	23.3	8.3	1.7

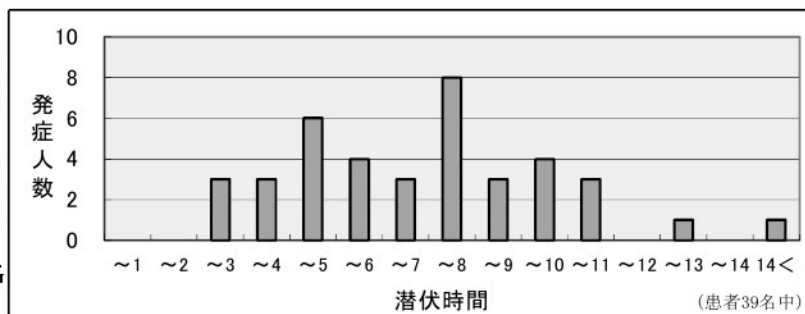
おう吐

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	18	2	0	2

下痢

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	34	12	1	4

水様：39名 粘液：2名 軟便：3名
 血便：1名（以上複数回答あり） 不明：8名



発熱

最高体温	37.0未満	37.0~37.4	37.5~37.9	38.0~38.4	38.5~38.9	39.0~39.4	39.5以上	不明
人数	1	0	7	7	2	1	0	2

初発症状 患者48名中（複数回答あり）

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	寒熱後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	15	3	0	11	15	1	0	2	1	2	0	2	0	0

表6 ヒラメ事例における患者症状等

症状	患者44名中（複数回答）													
症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	裏熱後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	37	26	16	15	31	12	4	4	19	11	13	11	0	4
発症率(%)	84.1	59.1	36.4	34.1	70.5	27.3	9.1	9.1	43.2	25.0	29.5	25.0	0.0	9.1

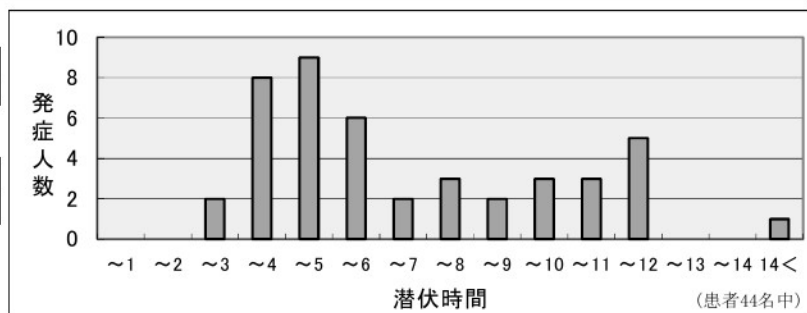
おう吐

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	14	8	2	2

下痢

回数	1~5	5~10	11以上	不明
人数	23	10	2	2

水様：28名 粘液：2名 軟便：6名
 (以上複数回答あり) 不明：3名



発熱

最高体温	37.0未満	37.0~37.4	37.5~37.9	38.0~38.4	38.5~38.9	39.0~39.4	39.5以上	不明
人数	0	6	4	1	1	1	0	3

初発症状 患者43名中（複数回答あり）

症状	下痢	おう吐	発熱	腹痛	吐き気	頭痛	ふるえ	裏熱後重	倦怠感	脱力感	臥床	寒気	げっぷ	その他
人数	13	6	0	5	24	1	0	0	2	1	0	1	0	3

参考資料

表7に、表2(18事例)及び新潟県、金沢市、広島市において生鮮魚介類の生食後に発症した事例について、主に喫食した魚種ごとに発症状況等を示した

表7 各事例における発症状況一覧

表2 No.	2	3	4	7	9	10
発生年	15	15	19	21	23	23
発生日	3月30日	7月19日	10月5日	5月3日	6月13日	6月20日
魚種	マグロ	マグロ、カツオ等	マグロ等	マグロ等	メジマグロ等	メジマグロ
産地	不明	不明	不明	不明	福岡県	長崎県
処理	食中毒	食中毒	食中毒	食中毒	有症苦情	有症苦情
病因物質	不明	不明	不明	不明	不明	不明
患者数	13	10	13	9	1	4
喫食者数	55	17	20	14	1	4
発症率	24%	59%	65%	64%	100%	100%
入院	不明	不明	不明	0	0	1
原因食品	懐石料理	会食料理	会席料理	会席料理	不明	不明
魚介類の生食メニュー	マグロ刺身	マグロ、カツオ刺身	マグロ刺身、鯛刺身及び寿司	マグロ、マコガレイ寿司	メジマグロ、ヒラメ刺身	メジマグロ刺身
潜伏時間	4.5h~10h	5h~13h	2h~7h	7h~16h	1h	6h~11h
寄生虫検査結果	なし	なし	なし	なし	メジ残品 クダア属(+) ヒラメ残品(-)	メジ残品 クダア属(+)
主症状	吐き気 11名(85%) 下痢 10名(77%) おう吐 8名(62%) 腹痛 7名(54%) 倦怠感 7名	下痢 9名(90%) 腹痛 6名(60%) 吐き気 6名(60%) おう吐 4名(40%) 倦怠感 4名(40%)	おう吐 12名(92%) 吐き気 11名(85%) 下痢 10名(77%) 発熱 7名(54%) 倦怠感 5名	下痢 9名(100%) 倦怠感 4名(44%) 脱力感 3名(33%) 寒気 3名(33%) 発熱 3名(33%)	下痢 1名(100%) おう吐 1名(100%) 腹痛 1名(100%) 吐き気 1名(100%) 倦怠感 1名(100%) 脱力感 1名(100%)	下痢 4名(100%) 腹痛 4名(100%) 倦怠感 4名(100%) 脱力感 3名(75%) 頭痛 3名(75%)
下痢回数性状	1~5回 4名 6~10回 2名 11回以上 3名 不明 1名 水様 6名 軟便 1名 不明 3名	1~5回 6名 6~10回 3名 水様 7名 粘液 2名	1~5回 3名 6~10回 6名 不明 1名 水様 10名	1~5回 7名 6~10回 2名 水様 5名 血便 5名	1~5回 1名 軟便 1名	1~5回 3名 6~10回 1名 水様 4名 血便 1名
おう吐	1~5回 4名 6~10回 2名 11回以上 2名	1~5回 2名 6~10回 2名	1~5回 7名 6~10回 4名 不明 1名	1~5回 1名	10回以上 1名	おう吐なし
発熱	37未満 1名 37.5~37.9 1名 38~38.4 2名	38~38.4 1名	37~37.4 1名 37.5~37.9 2名 38~38.4 2名 不明 2名	37未満 2名 不明 1名	発熱なし	37~37.4 1名
初発症状	吐き気 8名 腹痛 2名 下痢 1名 発熱 1名	吐き気 4名 腹痛 3名 下痢 2名 おう吐 1名 倦怠感 1名	吐き気 9名 おう吐 4名 下痢 1名 発熱 1名 倦怠感 1名 脱力感 1名 寒気 1名	下痢 3名 倦怠感 2名 脱力感 2名 腹痛 1名 吐き気 1名	腹痛 1名	下痢 2名 腹痛 2名

表2 No.	11	12	14	15	16	17
発生年	23	23	23	23	23	24
発生日	7月1日	7月3日	11月18日	12月9日	12月19日	6月20日
魚種	メジマグロ等	メジマグロ	メジマグロ等	メジマグロ	メジマグロ	メジマグロ
産地	不明	福岡県	青森産	長崎県	宮城県	青森県
処理	有症苦情	有症苦情	有症苦情	有症苦情	有症苦情	有症苦情
病因物質	不明	不明	不明	不明	不明	不明
患者数	3	4	2	1	12	9
喫食者数	4	4	2	1	28	43
発症率	75%	100%	100%	100%	43%	21%
入院	0	0	1	0	0	1
原因食品	不明	不明	不明	不明	不明	不明
魚介類の生食メニュー	メジマグロ、アジ、イカ 刺身	メジマグロ刺身	メジマグロ、真鯛 刺身	メジマグロ刺身	メジマグロ刺身	メジマグロ刺身
潜伏時間	5h	3h~9h	6h	3.5h又は11h (8日昼、夜喫食)	1.5h~9.5h	1.5h~11h
寄生虫検査結果	なし	メジ残品・参考品 クドア属(+)	鯛参考品(-) メジ参考品(-)	メジ残品・参考品 クドア属(+)	メジ残品 クドア属(+)	メジ残品・吐物・患者検便 クドア属(+) ヒラメ残品(-)
主症状	吐き気 3名(100%) 頭痛 3名(100%) 下痢 2名(67%) 倦怠感 2名(67%) 脱力感 2名(67%) げっぷ 2名(67%)	吐き気 4名(100%) 下痢 3名(75%) 腹痛 3名(75%)	腹痛 2名(100%) 吐き気 2名(100%) おう吐 1名(50%)	下痢 1名(100%)	下痢 9名(75%) 腹痛 8名(67%) おう吐 4名(33%) 臥床 4名(33%)	おう吐 7名(78%) 吐き気 7名(78%) 下痢 6名(67%) 臥床 4名(44%) 寒気 4名(44%)
下痢回数性状	1~5回 2名 軟便 2名	1~5回 2名 11回以上 1名 水様 2名 不明 1名	下痢なし	1~5回 1名 水様 1名	1~5回 5名 6~10回 3名 不明 1名 水様 5名 不明 4名	1~5回 4名 6~10回 2名 水様 5名 不明 1名
おう吐	1~5回 1名	1~5回 1名	1~5回 1名	おう吐なし	1~5回 4名	1~5回 3名 6~10回 1名 不明 2名
発熱	発熱なし	発熱なし	発熱なし	発熱なし	37~37.4 1名 37.5~37.9 1名	37~37.4 1名
初発症状	吐き気 3名	吐き気 2名 悪心 1名 不明 1名	腹痛 2名	下痢 1名	腹痛 5名 下痢 3名 吐き気 2名 おう吐 2名 臥床 2名 ふるえ 1名 脱力感 1名 寒気 1名	吐き気 6名 腹痛 3名 下痢 1名 おう吐 1名

表2 No.	18	新潟県	金沢市	13	広島市
発生年	24	23	24	23	24
発生日	8月21日	7月27日	6月3日	9月13日	5月29日
魚種	メジマグロ	メジマグロ	メジマグロ	ヘダイ等	サワラ等
産地	長崎県	不明	岩手県	三重県産	不明
処理	有症苦情	有症苦情	食中毒	食中毒	食中毒
病因物質	不明	不明	不明	不明	不明
患者数	6	16	35	10	16
喫食者数	21	31	77	16	82
発症率	29%	52%	45%	63%	20%
入院	0	不明	不明	0	0
原因食品	不明	不明	不明	当該店の食事	宴会料理
魚介類の生食メニュー	メジマグロ刺身	メジマグロ刺身	メジマグロ刺身	刺身(ヘダイ、マグロ、カツオたたき、ホタテ、ウニ)	刺身(タイ、サワラ、カンパチ)
潜伏時間	5h~ 19h	3hから44h	1h~ 28h	5h~ 14h	1h~ 14h
寄生虫検査結果	メジ残品 クドア属(+) 9.8×10 ⁶ 孢子数/g	メジ残品 クドア属(+) 1.3×10 ⁶ 孢子数/g	メジ残品 クドア属(+) 1.8×10 ⁷ コピー/g	ヘダイ残品 K. iwatai(+) マグロ残品 (-)	サワラ検食 クドア属確認 (検出限界以下)
主症状	下痢 5名(83%) おう吐 3名(50%) 吐き気 2名(33%)	下痢 13名(81%) 吐き気 9名(56%) 腹痛 8名(50%) 倦怠感 5名(31%)	下痢 23名(66%) 腹痛 22名(63%) 吐き気 18名(51%) 倦怠感 13名(37%)	下痢 9名(90%) 発熱 6名(60%) 倦怠感 5名(50%) 腹痛 3名(30%)	下痢 13名(81%) おう吐 5名(31%) 倦怠感 5名(31%)
下痢回数 性状	1~ 5回 5名 水様 2名 粘液 3名	1~ 5回 12名 11回以上 1名 水様 9名 軟便 5名	1~ 5回 15名 6~ 9回 3名 10回以上 5名 水様 21名 軟便 2名	1~ 5回 8名 6~ 10回 1名 水様 8名 軟便 1名	1~ 5回 12名 6~ 10回 1名 水様 8名 軟便 3名 粘液 1名 不明 1名
おう吐	1~ 5回 3名	1~ 5回 3名 6~ 10回 1名	1~ 5回 5名 10回以上 1名	おう吐なし	1~ 5回 4名 6~ 10回 1名
発熱	発熱なし	37~ 37.4 1名	37.5~ 37.9 1名 39 ~ 39.4 1名	37 ~ 37.4 3名 37.5~ 37.9 1名 38 ~ 38.4 1名 不明 1名	38~ 38.4 1名
初発症状	下痢 2名 吐き気 2名 おう吐 2名 腹痛 1名	下痢 5名 腹痛 5名 吐き気 5名 倦怠感 1名 寒気 1名 膨満感 1名 あぶら汗 1名	下痢 7名 おう吐 2名 発熱 1名 腹痛 10名 吐き気 13名 倦怠感 1名	下痢 6名 腹痛 3名 しぶり腹 1名 げっぷ 1名	下痢 8名 頭痛 3名 吐き気 2名 張り腹 1名 おう吐 1名 その他 1名

表 2 No.	1	5	6	8
発生年	11	21	21	22
発生日	3月23日	1月30日	4月19日	4月1日
魚種	カツオ等	カツオ	カツオ	カツオ等
産地	不明	不明	不明	不明
処理	食中毒	食中毒	食中毒	食中毒
病因物質	不明	不明	不明	不明
患者数	11	18	21	10
喫食者数	32	28	47	20
発症率	34%	64%	45%	50%
入院	不明	不明	不明	不明
原因食品	会食料理 (カツオの刺身)	宴会料理	不明	当該施設で調理提 供された食事
魚介類の 生食 メニュー	カツオ刺身、 シラウオ、 ヒメサザエ	カツオタタキ	カツオタタキ	カツオ、シイラ の刺身
潜伏時間	6h~15h	3h~10h	4h~92h 12h~16hが主	3h~11h
寄生虫 検査結果	なし	なし	なし	なし
主症状	下痢 10名(91%) おう吐 6名(55%) 悪寒 6名(55%) 腹痛 4名(36%) 倦怠感 4名(36%)	吐き気 13名(46%) 下痢 12名(43%) おう吐 11名(39%) 腹痛 10名(36%) 発熱 7名(25%)	下痢 19名(91%) 脱力感 13名(62%) 倦怠感 10名(48%) 腹痛 10名(48%) 発熱 9名(43%) 臥床 8名(38%)	下痢 10名 (100%) 吐き気 6名(60%) 腹痛 5名(50%) 倦怠感 3名(30%)
下痢 回数 性状	1~5回 10名 水様 8名 軟便 2名 粘液 1名	1~5回 6名 6~10回 5名 不明 1名 水様 8名 不明 4名	1~5回 8名 6~10回 7名 不明 4名 水様 13名 軟便 1名 粘液 1名 血便 1名 不明 4名	1~5回 10名 水様 10名
おう吐	1~5回 5名 6~10回 1名	1~5回 10名 6~10回 1名	1~5回 3名 不明 2名	1~5回 3名
発熱	37.5~37.9 3名 38~38.4 1名	37未満 1名 37.5~37.9 1名 38~38.4 3名 38.5~38.9 1名 39~39.9 1名	37.5~37.9 3名 38~38.4 3名 38.5~38.9 1名 39~39.9 2名	発熱なし
初発症状	下痢 5名 吐き気 3名 おう吐 2名 悪寒 1名	吐き気 10名 腹痛 4名 下痢 3名 しぶり腹 1名	腹痛 6名 下痢 5名 脱力感 2名 倦怠感 1名 おう吐 1名 吐き気 1名 頭痛 1名 しぶり腹 1名	下痢 2名 腹痛 1名 吐き気 1名

表8に、ヒラメを喫食した7事例（表3）について、発症状況等を示した。

表8 ヒラメの関与が疑われる食中毒 発症状況一覧

番号	1	2	3	4	5	6	7
発元年	23	23	23	23	24	24	24
発生日	8月1日	10月31日	11月4日	11月5日	3月23日	7月10日	7月17日
魚種	ヒラメ	ヒラメ	ヒラメ	ヒラメ	ヒラメ	ヒラメ	ヒラメ
産地	韓国産	韓国産（推定）	韓国産	韓国産	韓国産	韓国産	韓国産
処理	食中毒	食中毒	食中毒	食中毒	食中毒	食中毒	食中毒
病因物質	K. septempunctata	不明	K. septempunctata	不明	K. septempunctata	K. septempunctata	不明
患者数	7	9	6	9	3	4	6
喫食者数	11	10	7	15	8	4	6
発症率	64%	90%	86%	60%	38%	100%	100%
入院	0	2	0	0	0	0	0
原因食品	ヒラメ刺身	当該店の食事（ヒラメ含む）	ヒラメ刺身	当該店の食事（ヒラメ含む）	ヒラメ刺身	白身魚カルパッチョ（ヒラメ）	海鮮丼
魚介類の生食メニュー	ヒラメ、活け車えびおどり	マグロ、ヒラメ、タコ	ヒラメ、車えび	ヒラメ（にぎり、刺身）	刺身（ヒラメ、中トロ、うに）	白身魚カルパッチョ（ヒラメ）	海鮮丼（ヒラメ、マグロ、タイ、ホタテ、サーモン、トビコ、しめ鯖）
潜伏時間	6h～12h	3.5h～15h	4h～12h	3h～12h	9h～12h	4h～6h	3h～5h
寄生虫検査結果	ヒラメ残品 K. septempunctata 8.9×10 ³ cfu/g	なし	ヒラメ残品 K. septempunctata 7.8×10 ¹⁰ cfu/g	なし	ヒラメ 検食・参考品 K. septempunctata 1.1×10 ⁷ ～ 1.7×10 ⁸ cfu/g	ヒラメ残品 K. septempunctata 1.0×10 ⁷ 孢子/g 患者検便 K. septempunctata	なし
主症状	下痢7名(100%) 腹痛5名(71%) 発熱4名(57%) おう吐3名(43%) 吐き気3名(43%) 頭痛3名(43%) 倦怠感3名(43%)	下痢8名(89%) 倦怠感6名(67%) 吐き気5名(56%) 発熱4名(44%) 腹痛4名(44%)	おう吐6名(100%) 吐き気6名(100%) 下痢5名(83%) 臥床4名(67%)	吐き気8名(89%) おう吐6名(67%) 下痢5名(56%) 頭痛5名(56%) 倦怠感5名(56%)	下痢3名(100%) おう吐2名(67%) 寒気2名(67%)	下痢4名(100%) おう吐3名(75%) 発熱3名(75%) 吐き気3名(75%) 倦怠感2名(50%)	下痢5名(83%) おう吐5名(83%) 吐き気5名(83%)
下痢回数性状	1～5回 5名 6～10回 2名 水様 7名	1～5回 6名 6～10回 2名 水様 7名 粘液 1名	1～5回 1名 6～10回 3名 不明 1名 水様 4名 軟便 1名 粘液 1名 不明 1名	1～5回 2名 6～10回 1名 11回以上 1名 不明 1名 水様 1名 軟便 3名 不明 1名	1～5回 3名 水様 1名 軟便 1名 不明 1名	1～5回 2名 6～10回 2名 水様 3名 軟便 1名	1～5回 4名 6～10回 1名 水様 5名
おう吐	1～5回 3名	1～5回 1名	1～5回 2名 6～10回 3名 11回以上 1名	1～5回 3名 6～10回 3名	1～5回 2名	1～5回 1名 6～10回 1名 11回以上 1名	1～5回 2名 6～10回 1名 不明 2名
発熱	37～37.4 3名 不明 1名	37.5～37.9 1名 38.5～38.9 1名 不明 2名	37.5～37.9 1名	37～37.4 1名 37.5～37.9 1名 39～39.4 1名	37～37.4 1名	37～37.4 1名 37.5～37.9 1名 38～38.4 1名	発熱なし
初発症状	下痢 4名 腹痛 1名 吐き気 1名 不明 1名	下痢 4名 腹痛 1名 吐き気 4名	吐き気 3名 下痢 2名 おう吐 2名 腹痛 1名 目の異常 1名	吐き気 7名 おう吐 3名 下痢 3名 腹痛 2名 頭痛 1名 倦怠感 1名 脱力感 1名	吐き気 1名 おう吐 1名 倦怠感 1名 寒気 1名	吐き気 3名 その他 1名	吐き気 5名 その他 1名